

第14回青空文庫表紙コンテスト

作品募集

Web サイト「青空文庫」には、著作権の切れた文学作品がたくさんアップロードされています。このコンテストは、皆さんが古い文学作品に触れるきっかけになるよう開催しています。読んで感じたこと、心に残ったことを表紙デザイン（イラストまたは写真）にして表現してみませんか？

◇ 募 集 要 項 ◇

■募集内容

下記の「募集対象作品」に挙げた①～③の文学作品を読んで、他の人がその作品を読んでみたくなるような表紙デザイン（イラストまたは写真）を作成してください。

なお、複数の募集対象作品に応募していただいても構いません。

■募集対象作品

- ①『一房の葡萄』（著者：有島 武郎）
- ②『よだかの星』（著者：宮沢 賢治）
- ③『幸福の王子』（著者：オスカー・ワイルド 訳：結城 浩）

※募集対象作品のテキストデータは

[仁短 moodle](#)→[附属図書館](#)→[第14回青空文庫表紙コンテスト](#)のフォルダにあります。

■応募資格 本学学生

■応募規定

①A4 判用紙 1 枚（19cm×19cm、用紙の向きは縦、横を問わない）。手書き、電子データ（Windows 環境で読み込める形式であれば可）どちらでも可。別添の応募用紙に必要事項を記入の上、作品と共に附属図書館に提出してください。手書きの場合は、附属図書館カウンターに提出、電子データの場合は、図書館メールアドレス（flib@jin-ai.ac.jp）へ送信してください。

②作成する表紙デザイン（イラストまたは写真）の中には、**必ず「募集対象作品のタイトル（[例] 一房の葡萄）」と「著者名（[例] 著：有島 武郎）」**を入れてください。

※応募用紙（電子データ）は、

[仁短 moodle](#)→[附属図書館](#)→[第14回青空文庫表紙コンテスト](#)のフォルダにあります。

■応募締切 令和8年12月10日(木)

■賞

- | | | |
|---------|------|------------------------------|
| 『一房の葡萄』 | 最優秀賞 | 1名（副賞：デジタル文庫本、図書カード 3,000円分） |
| 『よだかの星』 | 最優秀賞 | 1名（副賞：デジタル文庫本、図書カード 3,000円分） |
| 『幸福の王子』 | 最優秀賞 | 1名（副賞：デジタル文庫本、図書カード 3,000円分） |

■入選等発表 令和9年1月以降予定

■審査委員

委員長	重村 幹夫	(附属図書館長)
委員	澤崎 敏文	(生活情報デザイン専攻)
	前田 敬子	(幼児教育学科)
	竹下 真弓	(附属図書館)
	黒田 亜澄香	(情報資源センター)
	岡田 ひまり	(情報資源センター)

■著作権

応募いただいた作品の諸権利は、仁愛女子短期大学附属図書館に帰属するものとします。入賞作品及び応募いただいた作品は、図書館で所蔵の上、公開いたします。また、仁愛女子短期大学及び附属図書館のウェブサイトや本学広報誌等において公表する場合があります。

■募集対象の作品・作家について

① 『一房の葡萄』(有島 武郎 著)

「一房の葡萄」は、有島武郎による小説。雑誌『赤い鳥』1920年(大正9年)8月号に掲載された。

小さい頃絵を描くことが好きだった主人公の「僕」は、自身の住む横浜の山手に続く美しい海岸通りを絵に描いて再現しようとする。しかし、自身の所持している絵具では、本当の景色で見るような絵には描けない。ある日西洋人の同級生・ジムの持つ舶来の上等な絵具が羨ましくて衝動的に盗んでしまうが、程なくしてそのことが露呈し、美しい憧れの先生に言いつけられてしまう。

(引用・出典: Wikipedia より)



② 『よだかの星』(宮沢 賢治 著)

『よだかの星』は、宮沢賢治の短編小説(童話)。

主人公である鳥のよだかは、美しいはちすずめやかわけみの兄でありながら、容姿が醜く不格好なゆえに鳥の仲間から嫌われ、鷹からも「たかの名前を使うな、市蔵にせよ」と改名を強要され、故郷を捨てる。

(引用・出典: Wikipedia より)



③ 『幸福の王子』(オスカー・ワイルド 著 結城 浩 訳)

オスカー・ワイルドが1888年にロンドンで公刊した童話集の中の1篇。

金箔と宝石で覆われた美しい王子像が、南へ渡るのを遅らせる一羽のツバメとともに、町の貧しい人々に自分の飾りを少しずつ贈り与えていく。

(引用・出典: HP フィロソフィーマップより)

